

## 芋川地区直轄地すべり対策事業が 全建賞を授賞しました！

全建賞は、優れた建設技術の創意工夫をこらした活用並びに事業の進め方やインフラの運用の工夫等により、秀でた成果の得られた事業などを一般社団法人 全日本建設技術協会が表彰するものです。

平成29年度全建賞は、【道路部門】17事業、【河川部門】16事業、【都市部門】11事業など81事業で選定・授賞となりました。

この度、『芋川地区直轄地すべり対策事業』が河川部門で全建賞を授賞しましたのでご紹介します。



南平池谷地区（安定した土地に集落が復活）



被災の様子を伝える「郷見庵」



現地視察会開催

### 【評価内容】

全建賞表彰資料より

新潟県中越地震により全村避難となった旧山古志村内芋川流域で、55箇所もの天然ダムを形成した地すべりに対する「芋川地区直轄地すべり対策事業」にあたり、地元住民の協力と理解を得ながら学識経験者等で協議会を設置し、対策効果を検証しながら実施した取り組み。

事例が少ない地震による地すべりに対し、専門家を交えた各種委員会で対策検討や効果確認を行いながら実施した点や、地すべり解析に大きく貢献し後の岩手・宮城内陸地震などに活かされている点、災害遺構を後世代に伝える情報発信を進め、理解を得つつ人々が安全に暮らせる場所の創造を実現して点が評価された。

### 平成30年6月29日授賞式



赤沼事務所長が授賞を受けました。

